七　隣接チャネル漏えい電力

1　測定系統図

四の項に同じ。

2　測定器の条件等

⑴　搬送波電力の測定時のスペクトル分析器は、次のように設定する。

ア	中心周波数	試験周波数
イ	掃引周波数幅	試験周波数における占有周波数帯幅の許容値
ウ	分解能帯域幅	30kHz以上１MHz以下
エ	ビデオ帯域幅	分解能帯域幅の３倍程度
オ	Ｙ軸スケール	10dB／Div
カ	入力レベル	最大のダイナミックレンジとなる値
キ	データ点数	測定精度が保証される点数
ク	掃引時間	測定精度が保証される時間
ケ	掃引モード	連続掃引
コ	検波モード	ポジティブピーク
サ	表示モード	マックスホールド

⑵　隣接チャネル漏えい電力の探索時のスペクトル分析器は、次のように設定する。

ア	中心周波数	隣接チャネル漏えい電力の許容値が適用される周波数
イ	掃引周波数幅	隣接チャネル漏えい電力の許容値が適用される周波数幅
ウ	分解能帯域幅	30kHz以上１MHz以下
エ	ビデオ帯域幅	分解能帯域幅の３倍程度
オ	Ｙ軸スケール	10dB／Div
カ	入力レベル	最大のダイナミックレンジとなる値
キ	データ点数	測定精度が保証される点数
ク	掃引時間	測定精度が保証される時間
ケ	掃引モード	連続掃引
コ	検波モード	ポジティブピーク
サ	表示モード	マックスホールド

⑶　⑵の条件で探索した値が許容値を超える場合の隣接チャネル漏えい電力の測定時のスペクトル分析器は、次のように設定する。

ア	中心周波数	隣接チャネル漏えい電力の許容値が適用される周波数
イ	掃引周波数幅	隣接チャネル漏えい電力の許容値が適用される周波数幅
ウ	分解能帯域幅	30kHz以上１MHz以下
エ	ビデオ帯域幅	分解能帯域幅の３倍程度
オ	Ｙ軸スケール	10dB／Div
カ	入力レベル	最大のダイナミックレンジとなる値
キ	データ点数	測定精度が保証される点数
ク	掃引時間	測定精度が保証される時間
ケ	掃引モード	単掃引
コ	検波モード	ＲＭＳ